

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 ロングサポートLa・Nature

回答率：58%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	利用者やスタッフが動きやすいように十分スペースが確保されています。	
	②	職員の配置数は適切である	10	1	指定基準の人員配置に加え、マンツーマンでの支援ができる体制を確保しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2	活動の場面による使い分けができる仕切りとなっています。全室バリアフリーです。送迎到着のベル（音声）による伝達ができるようになっています。	【課題】 情報伝達等への配慮がなされていません。 【対策】 定期的なミーティングや連絡ボード、ノートなどの活用により、職員からの情報収集および情報共有の場を定期的に設ける工夫を図ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	4		【課題】PDCAサイクルへの職員の参画が広められていません。 【対策】会議やミーティングを通して、業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画できるよう、取り組んでいきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	自己評価を通して改善対策を実施しています。併せて保護者アンケートも実施し、業務改善に取り組んでいます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		ホームページにて公開しています。会議等での周知が必要だと思われます。 ・未回答1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	1		【課題】 未実施です。 今後の検討課題です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	対面での研修に参加出来ない場合もZOOMで参加できるように工夫しています。	【課題】 継続課題として、職員のスキル向上を目指すための研修の機会を設ける予定です。 【対策】 引き続き、対面での研修及びWEBでの研修も定期的に関催する機会を増やし、自己啓発やスキルアップを図っていきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	多職種による評価や課題を収集するアセスメントシートを活用しています。	【課題】 アセスメントに関する情報共有が不十分です。 【対策】 アセスメントツールの標準化や支援会議等を通して意見交換や情報共有を図っていく必要があります。 ・未回答1
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	生活全体に視点を充てた評価をし、左記の支援内容から必要項目を選択し、個別支援計画に設定している。	個別支援計画認できるようにしていますが、職員全員が理解できるように定期的なケース会議が必要⇒左記の項目では個別支援計画に必要項目が設定されているかを問われているので、いいえの回答がないので、本項目では記載なしでよいと思われます。工夫されている点に記載
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		【課題】 職員全体の個別支援計画の内容理解が不十分です。 【対策】 PDCAサイクルを活用し、職員全体が計画内容を十分理解して、計画に沿った支援が行われるよう取り組んでいきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	活動プログラムについては保育士、児童指導員が中心となって立案しています。個別の活動においては、療法士や看護師等からの意見やアドバイスも加えながら行っています。	【課題】 立案したプログラムの内容共有が必要と思われます。 【対策】 支援会議等を通じて、多職種間で意見交換や情報共有を図り、より高いチームワーク化を図っていきます。 ・未回答1

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	季節のイベントや屋外活動など、様々な体験の場を提供できるよう工夫しています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10	0	個別活動とグループ活動を組み合わせた内容で支援計画を作成しています。	【課題】利用頻度が少ない児童の計画作成が困難です。 【対策】電話等で随時連絡を取るようになっています。 ・未回答1
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3	朝の申し送りにて当日の流れを確認しています。また、周知内容をボードに記載するなどの工夫をしています。	【課題】出勤時間の異なる職員への周知が不十分です。 【対策】ボードやノートに記載していることの呼びかけをして十分に活用できるように働きかけるようにします。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	3	スタッフ同士で積極的にコミュニケーションをとり、その日の振り返りができています。	【課題】できる日とできない日があります。また、常勤職員間では確認できますが、全職員と情報共有できるよう工夫が必要です。 【対策】毎日の日課としてその日の振り返りの時間を設け、情報共有できるようにします。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	サービス提供書の他、情報共有のための記録用紙に必要なコメントを記録しています。	【課題】職員ごとや職種ごとに記録の取り方が異なるため、記録内容の共有や意見交換の場が必要です。 【対策】会議やミーティングで記録内容の共有化を図り、支援の検証や改善につなげていくようにします。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2	6か月ごとの見直しを実施しています。	・未回答1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1	基本的には児童発達管理責任者が参加し、情報共有しています。	【課題】 支援者会議が活動中に行われることが多く、多職種の参加が難しいと感じます。【対策】 zoomなどを利用してできるだけ参加していきたいと思えます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	2	個々のケースに応じて関係機関と連携を図っています。	【課題】 連携している状況や内容が、職員全体に周知できていない場合があります。【対策】 会議やミーティングを通して情報共有していくようにします。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	2	個々のケースに応じて関係機関と連携を図っています。	【課題】 連携している状況や内容が、職員全体に周知できていない場合があります。【対策】 会議やミーティングを通して情報共有していくようにします。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	2	指示書を元に主治医やSWと電話等で情報交換を行っています。また、嘱託医の定期訪問時にも個々の状況を相談しています。	【課題】 複数の医療機関にかかっている場合、どこに指示書を頼んでいいか迷います。【対策】 関係各所や保護者様に相談しながら確認していきたいと思えます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	必要に応じて保育園等と互いに訪問見学や情報交換を行っています。自治体や相談支援事業所との連携も図っています。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	就学相談等で、特別支援学校教員の訪問や電話を通して、情報交換を行っています。自治体や相談支援事業所との連携も図っています。	・未回答2
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5	自治体によるが、事業所交流会等に参加して情報共有しています。	・未回答2

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	3	6		【課題】 障がいのない子どもと活動する機会を増やしたいと思います。 【対策】 近隣の保育園や幼稚園の園庭開放等を通して交流の機会を作りたいです。 ・未回答2
29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4	法人として自立支援協議会に参加し、市内の状況や市の福祉計画について情報を共有しています。	【課題】 ①事業所内での情報共有ができていません。 ②子ども部会等との情報共有ができていません。 【対策】 ①会議等で自立支援協議会の内容についての報告を行い、情報共有していく。 ②子ども部会等と連絡を取り、情報共有の機会を作っていくようにします。 ・未回答3
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	送迎時や必要時に電話等で保護者様と情報交換等しています。	【課題】 保護者との情報共有した内容が全職員に周知できていません。 【対策】 会議やミーティングでの報告やボード、ノート等を活用して保護者と情報共有した内容を周知していきます。 ・未回答1
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	6	保育参加の機会を設けたり、必要に応じて支援を行っています。	【課題】 家族支援のプログラムについて具体化できていません。 【対策】 家族支援のためのプログラム作成や、育児支援のための相談窓口の開設等を検討していきます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	2	利用契約時に説明しています。	【課題】 説明した内容が十分理解されているかの確認について不十分です。 【対策】 契約時の説明については丁寧に行い、理解ができていないかの確認についても怠らないようにすすめていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	個別面談等を行い、計画書についての説明を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	必要に応じて、個別に対応しています。	【課題】 定期的には実施できていない状況です。 【対策】 定期的に相談ができるよう、相談窓口の設置等について検討していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	3		【課題】 保護者会や交流会を再開したいです。 【対策】 感染症対策を講じ、保護者会や交流会が定期的に行われるよう検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	相談があった場合は個別に面談を行ったり、家庭訪問を行ったりしています。	【課題】 対応が遅れる場合があります。 【対策】 相談や申し入れに対する対応が、迅速・適切に行われるよう、相談窓口、報告、対策検討が速やかに行われる体制を整えていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0		本年度より年4回、会報「からんころん」と「ほげんだより」を発行し、活動報告や体調管理や感染対策等の情報提供などを発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		継続して、取り扱いに注意していきます
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	耳だけでなく視覚からも伝わるように工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	・未回答2	現在はできていないが、今後の検討課題です

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	4		<p>【課題】各マニュアルは策定できていますが、想定訓練の実施はまだ不十分です。</p> <p>【対策】年間計画の立案を事業所ごとに行うものと全事業所共同で行うものを整理し、身近な形で訓練が行える体制を整えていきます。また、感染症に対するBCPについても今年度中に策定し、来年度から訓練実施に向け取り組んでいきます。</p>
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	事業所ごとに避難訓練を実施し、それぞれの利用者状況に応じた課題を見つけ、対策について検討しています。	<p>【課題】自然災害に対するBCPの策定及び訓練の実施します。【対策】今年度中にBCPを策定し、来年度からの具体的な訓練方法について検討をすすめています。</p>
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	毎年健康状況の聞き取りをしています。	<p>【課題】職員全員への周知がされていません【対策】職員全員が健康状況書に目を通せるように配慮が必要です。</p>
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	必要に応じて、ご家族と具体的に相談したり、主治医と連絡を取りながら進めています。	<p>【課題】指示書に具体的な指示内容が確認しにくいことがあります。</p> <p>【対策】指示書の見直しや、必要に応じて医療機関（主治医や栄養士等）と直接連絡をとり、食物アレルギーについて安全対策を講じていきます。</p>
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		職員全員閲覧および会議等で周知、共有しています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	虐待を防止するため、職員全員対象の研修を開催しています。	<p>【課題】定期的な研修の場だけでなく、日頃の支援について身近に行える意見交換の場が必要です。【対策】個別支援の中での気づきを職員間で意見交換できる場やお互いに伝えあえる関係性が築けるような研修も併せて行っていきます。</p> <p>・未回答1</p>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	0		身体拘束については、個別支援計画にも記載し、保護者の了解を得ています。子どもの安全を優先しながら、必要性を十分考慮して行っていきます。